

MEJ NEWSLETTER



■ 理事長 渋谷健司の企業訪問 第1弾 株式会社システム・ビット

2024年8月6日、株式会社システム・ビット(以下システム・ビット)を渋谷理事長が企業訪問しました。システム・ビットは業界唯一の多言語化可能な健康診断システムを有し、国内・海外への展開を行っているIT会社です。

まずは、システム・ビットの医療情報事業部 堀事業部長から、MEJに入学してからのシステム・ビットの国際展開事業の取組み、MEJに期待することをお話いただきました。

システム・ビットは2019年から企業会員としてMEJに参画し、翌年には、経済産業省の補助事業に採択され、ベトナムでの健診の市場調査を実施し、本格的な国際展開事業を開始されました。その後、インバウンド・アウトバウンドなどの委員会に積極的に参加し、提供サービスが健診システムという背景から、医療だけでなくヘルスケアという視点で、日本の国際展開・ブランディングへの課題や意見を忌憚なく提言いただいていたことをお話いただきました。



左から、システム・ビット 医療ICT営業部 伊丹担当部長、開発部3課 山本課長、医療ICT営業部 堀事業部長、MEJ 渋谷理事長、CS広報部 部長 呉原、システム・ビット 医療ICT営業部 木村担当部長

システム・ビットの課題の一つとして、国内で事業のみを行っている、他企業の情報が入手できないことを挙げられました。しかし、MEJの委員会活動などに参加することによって、会員同士の横のつながりができ、国内市場での競合企業とでも、海外市場ではチームジャパンとしてお互いに成長していくことに期待を持たれています。これはMEJに入会しているメリットのひとつと感じているとお話されたことが印象的でした。これに対し、MEJとしてもそのような場の提供を質的・量的に充実させていきたいと渋谷理事長からお伝えいたしました。



システム・ビットとして、日本のヘルスケア分野の国際展開の業界全体の活性化を目標に掲げられており、マーケットを拡げることが重要だと考えていらっしゃいます。同業他社でもある企業会員同士が、MEJというプラットフォームの中で、チームジャパンとして協力し合いながら、業界を盛り上げていきたいと激励もいただきました。MEJとしても会員の皆様と共に国際展開活動を邁進してまいります。

～企業会員より一言～

「普段は、理事長と直接協議する機会がない中、このような機会により、弊社の強みや、理事長よりMEJの今後の展望を伺うことが出来、大変良かったと感じております。」

■ 理事長 渋谷健司の企業訪問 第2弾 株式会社エクセル・クリエイツ

続けて2024年8月23日、渋谷理事長は株式会社エクセル・クリエイツ(以下:エクセル・クリエイツ)を訪問しました。エクセル・クリエイツは、医療機関向けの「統合型データ管理システム」を開発・提供する、創業21年の会社です。本社は大阪にあり、東京・名古屋そして海外拠点としてベトナム・ハノイにもオフィスを立ち上げられました。

統合型データ管理システムは、画像・検査・健診システムを連携し、ひとりの患者がいつどの検査をしたか、画像・レポート・検査データ履歴を一覧表示できることが特徴です。システム導入後にも各施設や使用方法によってカスタマイズできることを売りとしています。



○チームジャパンとしてのアウトバウンド事業展開への意欲

エクセル・クリエイツは、MEJの企業会員と協力し、グローバル市場における「チームジャパン」としての存在感を高めたいと考えています。国内での競合関係を超え、各企業の強みを活かしたソリューションの共同開発を通じて、アウトバウンド事業の展開を目指しています。棚田社長は、MEJのネットワークを活用し、企業間の連携をさらに深めていきたいと熱意を語っていました。

○ベトナムの医療DXが示す未来

特に注目すべきは、医療DXが進むベトナムの状況です。ベトナムでは、全ての患者に画像レポートが渡され、そのレポートについて二次元コードを読み取ることで、誰でも診断結果を閲覧できる仕組みが整っています。この進んだ取組みに渋谷理事長も感銘を受け、今後の医療インバウンドへの活用や医療DXの可能性を実感されていました。

○医療機関と連携強化に向けて

さらに、エクセル・クリエイツは企業間の連携だけではなく、医療機関とのつながりも強化したいと考えています。これは、エクセル・クリエイツの製品を国内で広めるためだけでなく、医療インバウンドの受入を始めたいがどうすればいいかわからないなど、課題を抱える医療機関に対して、MEJのサポートを通じて解決していくことも可能だからです。より多くの企業、より多くの医療機関とつながりを持つことによって、より多くの課題を解決することができるというお話がとても印象的でした。MEJとしても、会員同士が交流できる場を提供していくことの大切さをより一層、実感いたしました。

～企業会員より一言～

「ベトナムを中心に、東南アジアへの展開を目指す弊社としてはMEJ様のご支援は大変心強く、スピード感をとても感じるミーティングになりました。チームジャパンの一員として、会員企業の皆様と連携しながら海外展開を進めて行きたいと思います。その中心にいらっしゃるMEJ様にはジャパンの旗手として引き続き大変期待をしております。」



左から、MEJ CS広報部 山口、部長 呉原、渋谷理事長、エクセル・クリエイツ 棚田社長、MEJ中期実践委員 木村氏(株式会社システム・ビット)

会員の皆様とお話をしていく中で、委員会や勉強会では足りていない現状報告をニュースレターにて行っていくべく、今月より「事業部からのお知らせ」という項目を新設致しました。アウトバウンド事業におけるMexxの進捗状況や、インバウンド事業の取り組みについて、皆様にご報告して参ります。

タイ

9月4日(水)に第1回ME Thailand-MEJフォーラム会議を開催いたしました。
『自立を重視した高齢者ケア』をテーマに、タイにおける介護や高齢者自立支援のニーズと課題および日本の取り組みをご紹介いただきました。詳細に関しましては次号にて特集させていただきますので、どうぞ期待ください！

ベトナム

- ① ハノイ医科大学病院がん検診センター設立プロジェクト
 - ・ 日本の先進的な医療機器を導入し、日本製品のショーケースとなるセンターの設立を目指すべく、日本企業がアライアンスを組み、医療機器のパッケージ導入を目指しています。
 - ・ パッケージの最終提案に向けて日本企業各社と仕様を確認中です。9月にベトナム側に提出を予定しています。時期は未定ですが、その後入札を経て本提案の採否が決定する見込みです。
- ② バクマイ病院NCDs先進医療集約プロジェクト
 - ・ 日本企業が持つ医療技術や製品の臨床評価を行うプラットフォームとしてバクマイ病院が機能しています。
 - ・ 参加企業とバクマイ病院間でMOU締結にむけ調整中です。
 - ・ **追加のプロジェクト参加企業を募集しておりますのでご興味ある方はご連絡ください。(担当 樋口: mejoutbound@me-jp.org)**

台湾

- ① Buon Ma Thuot Medical University Hospital Demo Center(ベトナム)
高雄医科大学病院、バンメトート医科大学病院、オリンパスで内視鏡センター設立に向け計画推進中です。
- ② Taiwan Advance MedTech Centre(マレーシア)
7月に企業会員向け説明会を実施しました。台湾より報告で今年の枠は台湾企業で既にいっぱいとのこと、今後については台湾側と協議を行います。
- ③ 台湾市場参入・開拓活動支援(B to B)
MEJ企業会員のニーズ含め調査を予定しています。台湾企業の要望などを確認の上、詳細な相互支援について台湾側と協議を行います。
- ④ インバウンド交流
10月下旬にハイブリッド形式でインバウンド受け入れ体制や課題についてパネルディスカッション方式の交流を行う予定です。

インド

インドと日本の医療・ヘルスケア分野における多部門連携の拠点となるME Indiaの設立に向けた取り組みを開始しました。
現在、デスクトップ調査と並行して、日印両国の官民の関係者に詳細な聞き取り調査を行っています。これらのステップに続き、秋には現地調査を行い、より包括的な情報を収集し、MEインドの潜在的なステークホルダーとのコネクションを構築する予定です。インタビューから得られた初期の知見によると、インドでは現在利用できない新しいテクノロジーや革新的なソリューションが求められており、特に長期的な病院の拡大が見込まれていることが明らかになりました。
インドの多様なヘルスケア市場について、さらに詳しく知りたい方は続報をご期待下さい。

編集後記

今回は大変ボリュームのある内容となりましたが、読みごたえはいかがだったでしょうか？
企業訪問では、渋谷理事長自ら会員の方とお話をすることで、MEJと会員とのつながりがより強固なものになったと感じております。
今月から始まりました事業部からのお知らせでは、MEJの最新の近況を皆様にアップデートすることを目的とし、より活発なアウトバウンド・インバウンド事業を進めてまいります。